

2023年度

福岡県糸島市

「女性のはたらき方研究プロジェクト」

活動報告



相模女子大学・相模女子短期大学部

夢をかなえるセンター連携教育推進課

「福岡県糸島市女性のはたらき方研究プロジェクト」発行



目次

1. 本プロジェクトについて
2. 活動の流れ
3. 活動のまとめ
 - ①はたらき方に関するインタビュー
 - ②プロジェクトOGとの交流会
 - ③糸島の魅力発信
4. 活動を終えての感想
5. お世話になった方々のご紹介

1. 本プロジェクトについて

本プロジェクトは、近年、SNS やテレビなどで話題の福岡県糸島市をフィールドに「女性の働き方」を研究しています。

「女性の働き方」を研究することで、今後の就職先や、さらに先の人生について考えるきっかけにもなるプロジェクトです。実際に、2泊3日で糸島市へ訪問をし、研究を深めていきます。最終日には市長表敬訪問があり、約3日間で学んだ事を伝える場があり、メンバー全員が想いを伝えることが出来ます。

活動内容としては主に以下の3点です。

① インタビュー調査

糸島に在住する方を対象に、インタビューを行います。今後の人生について参考にさせて頂く、また、大人の方とコミュニケーションを取ることで、社会で必要とされるコミュニケーション能力を身に着けることが出来ます。

② SNS での情報発信

糸島プロジェクトでは、インスタグラムを使用し、糸島の魅力発信や活動内容を紹介しております。ターゲットとして20~30代の女性で、「移住を考えている人」、「糸島へ旅行したい人」を対象に情報発信を行っております。

③ 糸島プロジェクトプラットフォームの構築と活用

これまでに糸島プロジェクトに参加した上級生や卒業生と交流することが出来るプラットフォームを構築します。交流を通して人脈構築や、糸島のおすすめスポットなどを知る機会があります。

2. 活動の流れ

日程	活動
2023年6月23日	第一回ミーティング 顔合わせ
2023年6月28日	第一回定例会
2023年7月8日	OG交流会
2023年7月19日	第二回定例会
2023年7月26日	第三回定例会
2023年8月1日	ミーティング
2023年8月2日	第四回定例会
2023年8月9日	第五回定例会
2023年8月16～18日	糸島現地訪問
2023年9月11日	第二回ミーティング
2023年9月26日	第六回定例会
2023年9月27日	第七回定例会
2023年10月10日	第八回定例会
2023年10月17日	第九回定例会
2023年10月18日	第十回定例会
2023年10月24日	第十一回定例会
2023年11月3～4日	相生祭
2023年11月10日	第十二回定例会
2023年12月6日	ミーティング
2024年3月26日	最終ミーティング

3. 活動のまとめ

①はたらき方に関するインタビュー

メンバー：田中琴巳/高橋華緒

① 糸島市地域おこし協力隊 舩野結花さん

担当：田中琴巳

舩野さんは、東京の大学院で産業観光の復興や街づくりを学び、IT系ベンチャー企業やフリーでWEB関連の仕事に携わっておりました。当時、糸島市が東京で開催した移住イベントをきっかけに地域おこし協力隊に応募をし、糸島市へ移住されました。地域おこし協力隊として、糸島市の飲食店や工房を紹介する「糸島つながる市場」の運営や事業者の情報発信をされてます。(令和6年1月末退任)

また、「地域おこし協力隊」とは、その地域に移住をし、地域ブランドの開発・販売・PR活動や、農林水産業への従事など「地域協力活動」を行いながら、地域力の維持・強化を図ることを目的とした取組みのことです。

そのような経験をされた舩野さんに今回インタビュー調査を行わせていただきました。インタビュー中は、舩野さんのとても素敵な笑顔で、和やかな雰囲気の中でインタビューを行うことが出来ました。

都市部から自然豊かな糸島市へ移住されたこともあり、住む場所の比較をお聞きすることが出来ました。糸島のお話をされている時の舩野さんは、とてもイキイキしているように感じました。特に、糸島市に在住されている方は、本当に優しい方が多いとおっしゃっており、実際に、私も通りすがりの方に挨拶をしてもらいました。糸島在住の方は、心優しい人が住んでいる街なのだなど実感することが出来ました。過去の経験を活かし、現在の活動に生きがいを持っている舩野さんに私たち学生はパワーをいただくことが出来ました。

また、私たち糸島プロジェクトでは、Instagramを使用し、糸島の魅力発信や活動内容などの投稿を上げております。WEB関連のお仕事の経験、糸島つながる市場の情報発信をされている舩野さんにSNSに関する貴重なアドバイスを頂くことが出来ました。舩野さんのおかげで、今後の私たちの活動がより一層クオリティの高い投稿が出来るよう日々精進して参ります。

本インタビューを快く引き受けてくださった舩野さんのご協力に感謝申し上げます。

②画家 宮田ちひろさん

担当：高橋華緒

糸島市で風景画家をされている宮田ちひろさんにインタビューをさせていただきました。宮田さんの作品が展示されている古材の森に伺い作品を見させていただきました。どれも息を呑むような美しい作品ばかりで見惚れてしまいました。自分の作品を語る宮田さんを見ていてこちらも勇気を貰えるような事ばかりでした。

【糸島に来たきっかけ】

宮田さんは以前一度だけ首都圏に住んだことがあるそうです。しかし、糸島に戻った際に夕日が綺麗で、糸島の風景画を描きたいと心から思い糸島に来ることになったそうです。

【糸島の風景画を描く理由】

様々な風景を見て、糸島の風景がやっぱり綺麗だと感じ描いているそうです。さんぽ道や車でドライブをしながら、目にとまった風景を大切に記録しているそうです。宮田さんの作品の中には温かさを感じ、今を生きていると出会う感情、心模様が表現されています。宮田さんは絵を描く事でたくさんの出会いがあるとおっしゃっていました。絵から出会いの輪が広がり JA 糸島のラッピングトラックに採用された経験をお持ちです。作品展をする事で、交流が広がり自然と人を描くことが地域の付き合いへと広がるのが面白いところだと語っておりました。

本インタビューを快く引き受けてくださった宮田さんのご協力に感謝申し上げます。

③初潮旅館 宇治川由美さん

担当：谷野萌香

糸島市で旅館を経営されながら、「ON HATSUSHIO」として図書館カフェやワーキングスペースの進行旅館内でのライブなどを開催されている宇治川さんにインタビューさせていただきました。

宇治川さんは香川出身で、旅館の女将の前は造園屋の仕事をなさっていました。そこから、今の旅館をより生かすためにリノベーションを施したり、マネジメントや接客を少し変えられたりしていき、現在の初潮旅館が完成しました。初潮旅館は入った瞬間他の旅館とは違う、現代的なスタイリッシュな印象を持ちました。内装のポイントとしては、パッと見て館内のかっこいい部分、例えば窓から見える海の景色や古くからの柱など目立たせることを意識されているとのことでした。

宇治川さんは旅館以外の取り組みもなされており、特に旅館でのライブは目を惹くものがあります。ライブを開催する際に考えていることは演者をメインに考えるということで、それにより自然とお客さんも来るということを話していただき、それを聞いて私はライブを開催する側の世界を知らなかったのですがどのようなことをライブ開催の際にフォーカスを当てるのか知ることができました。様々なことを手掛ける宇治川さんのアイデアはどのように生まれるのか、聞いてみました。宇治川さんのアイデアは人とのふれあいや周りの土地や自然からの気になったことを忘れないようにしているとのことでした。気になったことは頭の中にプールしておくことが宇治川さんのアイデアを生み出すポイントでした。

お話を聞いて、私はアイデアを生み出すコツを詳しく聞くことができ新しいことを生み出すことについてのハードルが低くなりました。いつも通っている道、見ている風景を逆にいつもと何が違うのか考えてみたり、別の地域に行ってみたり、初対面の人と話す機会を増やしてみたり、できることから始めてみようと思いました。

インタビューを受けて下さった宇治川さんには感謝申し上げます。

②プロジェクト OG との交流会

メンバー：谷野萌香/須貝紅琉美/呂畑穂奈美

本年度は、昨年に引き続き、プロジェクト OG の方々との交流会を実施しました。今回、プロジェクト OG の方々との間に存在する距離感を縮め、双方の視点や考え方を共有することができ、有意義な時間を過ごすことができ、これらの活動を通じて、新たな視点で物事を見ることができました。交流会では、計9名のプロジェクト OG の方々にお越しいただきました。当時のプロジェクト活動や魅力、就職活動、社会人生活等の貴重なお話を伺うことができました。

【協力して下さったプロジェクト OG の方々】

区分	卒業年度	学科	氏名
卒業生	2019 年度	健康栄養学科	太田綾乃さん
卒業生	2019 年度	健康栄養学科	小池由佳さん
卒業生	2020 年度	管理栄養学科	深澤多絵さん
卒業生	2018 年度	管理栄養学科	菊池香菜子さん
卒業生	2019 年度	管理栄養学科	堀瑠美奈さん
在学生	-	日本語日本文学科	湯本夏帆さん
在学生	-	日本語日本文学科	渡辺采馨さん

在學生	-	英語文化コミュニケーション学科	相原琴音さん
在學生	-	社会マネジメント学科	二反田雪乃さん

本年度はプロジェクト参加経験のあるOGの方々と対面形式で交流会を行いました。今回の交流会では、OGの方々からゲームなどを企画していただき、皆で支えながら進行了しました。当日はプロジェクト活動を通して感じた糸島の魅力や経験談などを詳しくお話していただきました。加えて、一年生が多かったことから大学について、就職活動のアドバイス等の様々な質問に答えていただきました。最中に、OGの方が持ってきてくださった手作りクッキーを美味しくいただきながら、親睦を深めることができ、新たな視点やアイデアを共有する絶好の機会でもありました。私たちメンバー一同は、貴重な情報を交換し、それぞれの視点を広げることができました。

【交流会メンバー感想】

プロジェクトOGの方との交流会で今後どのような活動で糸島訪問の際に行った方がいい場所や食べたほうがいいものなど、私のはじめに抱いていたプロジェクトに関する不安を話すことによってイメージが湧き解消していきました。大まかに今後どのようにしていくのか分かりました。そして、就職活動に関しての話も聞くことができ、まだ何もわからなかったのが就職活動とはどういったものかよく知ることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

谷野萌香

糸島プロジェクトに所属してすぐの交流会であったため、不安や緊張もございましたが、実際にお話してみても、とても優しく温かい方ばかりで、とても楽しく交流することが出来ました。今年度はどちらかといえばOGの方が中心となり、進行していただけたため、こちらで出来ることは少なくありましたが、その中でも率先して話したり、質問をしたりして、場を盛り上げられるよう意識して交流会に参加いたしました。お話を聞いていると、糸島プロジェクトの活動をきっかけに新たな挑戦をするために転職を考えている先輩や、糸島が大好きで今でも糸島市の方と交流している先輩がいて、糸島プロジェクトから学ぶことの多さや、糸島市の方の優しさや魅力を知る事が出来ました。また、就職活動や大学生活へのアドバイスもいただいたり、糸島の美味しいお店を教えていただいたり、沢山のことを学ぶことが出来ました。今年度の活動を通して、反省や良い学びを得ることができたので、今度は糸島プロジェクトの先輩として後輩にアドバイスできたらと考えております。

須貝紅琉美

プロジェクトに参加してすぐの交流会だったため、まだ右も左も分からない状態で、とても不安と緊張を抱いていましたが、OGの方々から経験談を聞くことで、緊張が少しずつ解け、話を聞いていると、これからのプロジェクト活動がどんどん楽しみになり、ワクワクした気持ちで交流会を楽しむことができました。さらに、その時点ではまだ不安を抱いていた大学の授業の話や未来の事について、就職活動から社会人生活のリアルな話を聞くことができ、非常に貴重な時間を過ごすことができました。この交流会を通じて、実際の糸島訪問に活かせることで、自分自身の成長につながったと感じています。

呂畑穂奈美

③糸島の魅力発信

メンバー：千葉妃南/土屋愛美

2021年にプロジェクトメンバーが設立したInstagramを引き継ぎ、2023年10月11日に再始動させました。

Instagramで情報発信をする中で使用した写真は糸島市役所の方から提供してもらったものや、実際に私たちが糸島訪問で撮影した写真を投稿しました。

■投稿したスポット

- 二見ヶ浦 夫婦岩周辺散策
- 牧のうどん
- 櫻井神社・櫻井大神宮
- 福ふくの里ふくふく
- 芥屋の大門
- 古材の森
- トトロの森

■実際に投稿した画像の抜粋

相模女子大学糸島プロジェクト公式インスタグラムアカウント：@sagajo_itoshima2023

(<https://www.instagram.com/sagajyo.itoshima2023/>)

福岡県糸島市訪問！

こんな2泊3日を過ごしました

1日目 8月16日 水曜日

- 二見ヶ浦 夫婦岩周辺散策
- 農業体験
- 櫻井神社・櫻井大神宮
- 牧のうどん
- 芥屋の大門
- 深江夏祭り花火大会
- トトロの森



2日目 8月17日 木曜日

- インタビュー
- 福岡の里 ふくふく
- 前原中央商店街散策
- 伊都菜彩
- 学生主体夕食会



3日目 8月18日 金曜日

- インタビュー×2
- 古材の森
- 市長表敬訪問



今後の投稿について

今後のInstagramでの投稿では、1日目から3日目までの掲載をより詳しくご紹介していく予定です！
今後の投稿も見ていただくと幸いです！

sagajyo.itoshima2023

sagajyo.itoshima2023 こんにちは！*
今回は糸島市でどんなことをしたのかをまとめてみました！
今回はより詳しい内容を投稿しようと考えています！
いいね👍コメント🗨️お待ちしております！

福岡県糸島市女性のはたらき方研究プロジェクト
公式SNS
Instagram: @sagajyo.itoshima2023

#福岡県 #福岡 #fukuoka #すくおカ #糸島市 #糸島 #itoshima #いとしま #福岡旅行 #福岡観光 #福岡お出かけ #糸島旅行 #糸島観光 #糸島観光スポット #糸島巡り #糸島写真 #糸島市訪問 #旅行 #相模女子大学 #糸島プロジェクト

9週間前

いいね！ 36件
1月30日

コメントを追加...

2.27 (2024)

博多あまおう
実食




今まで食べたいちごの中で1番美味しかったです！
一粒がとても大きかったです！

sagajyo.itoshima2023

sagajyo.itoshima2023 みなさんこんにちは！
相模女子大学 糸島プロジェクトです🍓

今回の投稿は夏に糸島市訪問の際に農業体験をした納富さんの「博多あまおうの成長日記」についてです🍓🌱

この博多あまおうは、「あかい」、「まるい」、「おおきい」、「うまい」、この4つの頭文字をとって名づけられました。6年という長い歳月をかけて研究開発をされて誕生しました。糸島産の博多あまおうを実際に食べて、今まで食べたいちごの中で1番美味しかったです!!

みなさんいちごは好きですか??🍓
現在、旬の時期なので是非「博多あまおう」食べてください🍓

最後までご覧いただきありがとうございます！是非いいね👍&フォローもお願いします🍓
また次回の投稿もお楽しみに🍓

#福岡県 #福岡 #fukuoka #糸島 #糸島市 #itoshima #博多あまおう #いちご #インスタ映えスイーツ #糸島観光 #糸島巡り #相模女子大学 #糸島プロジェクト

1週間前

いいね！ 17件
7日前

コメントを追加...

4. 年間の活動を終えた感想

英語文化コミュニケーション学科 4年 田中琴巳

担当：リーダー/インタビューチーム

私は大学2年生の時に初めて糸島プロジェクトに参加をし、それから大学4年生まで糸島プロジェクトに携わることが出来ました。3年間の集大成となるプロジェクトを振り返ると、仲間と共に日々成長することが出来、楽しい思い出ばかりです。「女性の働き方」の研究を深めていく中で、糸島在住の方々に多くのアドバイスをいただくことが出来ました。実際に、就職活動と糸島プロジェクトを両立しながら活動をした中、「女性が働きやすい環境」であることを就職活動の軸にしておりました。このプロジェクトに携われることが出来たからこそ、将来のことを真剣に考えることが出来、糸島市の皆さまには本当に感謝しております。

また、この3年間で特にコミュニケーション能力と統率力を身に着けることが出来ました。糸島在住の方とインタビューを行う、訪問最終日には市長表敬訪問があり、積極的にコミュニケーションを取ることで、身に着けることが出来ました。リーダーというポジションでどのようなパフォーマンスを行えば全員で同じ目標に向かって活動することが出来るか考えました。実際に、Todo Listを作り、メンバー全員が意識を持ちながら活動することが出来ました。

糸島は、自然豊かな場所、心優しい人々、美味しい食など本当に魅力の詰まった場所です。そのような素敵な場所で3年間プロジェクト活動をする事が出来、大変嬉しく思います。

これまで私たちの活動を支えてくださった糸島市の皆さまと連携教育推進課の皆さまには大変感謝しております。このプロジェクトで学んだことを活かし、春からは社会人として日々精進します。本当にありがとうございました。

英語文化コミュニケーション学科 4年 高橋華緒

担当:副リーダー/インタビューチーム

私は、大学二年生から大学四年生まで三年間糸島プロジェクトに参加いたしました。現在大学四年生で最後の参加になります。三年間関わってくださった方々ありがとうございます。私が大学二年生の頃参加した際の目的といたしましては、コロナ禍で何もできなかった大学一年生の一年間を振り返り、何か自分に出来ることはないかと考えた末に参加する決意を致しました。自分自身このような社会貢献の活動を行うのが初めてで、ワクワクもあつつつ内には不安が大きくありました。しかし、大学二年生の初めての参加時に多くの方の温

もりとコミュニケーションスキルを学びました。高校生まで社会に出た大人の方と関わる機会が少なくビジネスとしてのマナーがまだまだ未熟部分が多かったです。そこで大学生でこの糸島プロジェクトを通して多くの人と関わる事で、より人の温かさを感じることができ、社会人の基礎を教えていただきました。

この三年間参加して培ったものは大きく二つあります。一つ目は、様々な体験です。一番印象に残っているものは、市長とお話が出来たことです。糸島で現地訪問した際に最終報告として市長とお話をさせていただきました。現地訪問する際には、私たちは糸島プロジェクトとして糸島市役所の方々と何度も何度も定例会を開きました。糸島に移住した方や起業した方の人生観を伺うために学生たちだけで情報収集し、どの方にお話を聞いてみたいかメンバーで話し合いをしました。決定した際にはその方はどんな方なのか出来る範囲で各自調査し質問事項など事前に考え、その方の人生観を伺いました。現地では主にこのような活動をしたり、糸島市を観光し、どう地域を盛り上げているのかなどを調査致しました。また、地域住民の人柄の良さなどを感じることができました。

二つ目は、人格的熟成です。一つ目で様々な体験が出来たことから、コミュニケーションスキルや問題解決力などが身につきました。経験を重ねることで、通常の大学生活を送るだけでは味わえなかったことが経験でき、応用で対応できるようになりました。また、自身の成長のために社会のコミュニティーに参加することで得られる知識が多々あります。実際に、インタビューをする際に言葉のキャッチボールをする知識を得ることができました。質問をし、感謝の言葉で終わらすのではなく、質問に対し答えてくださった言葉をきちんと聞き、その言葉に対して自分の気持ちを話すことで会話が広がり新たな発見がありました。これらのことを経てコミュニケーションスキルや問題解決力が身に付いたと感じます。

三年間で培ったものは自分自身において大きな成長に繋がり、社会に出た際に役立つことばかりでした。今年度は相生祭もありチームをまとめることがうまくできない時もあり大変でしたが、それ以上に糸島市の多くの人と関わる事が出来たことに感謝致します。

最後に、このプロジェクトを運営するにあたり多くの方々に感謝を申し上げます。糸島市役所の方々、連携教育の方々お忙しい中多くのサポートをありがとうございました。三年間の糸島プロジェクトを通して糸島市が自身の故郷のようになりました。ありがとうございました。

メディア情報学科 2年 谷野萌香
担当：交流会チーム

私は今回参加させていただいた2023年度糸島プロジェクトが初めての参加でした。初めの顔合わせでは私にとってみんな初対面で違う学年、違う学科だったので打ち解けるのに多少の時間がかかりました。しかし、2泊3日の糸島市での研修でコミュニケーションをしっかりとることができました。メンバーの半分以上が初めての参加で上手く考えが

まとまらなかったり、どうしたらいいか分からないことがあったりする中、4年生のお2人や先生方や糸島市役所の職員さんにとっても助けられました。

私は将来、九州の方への移住を考えていたので、実際に糸島に住んでいる方々のお話を聞いて将来どうしていこうかイメージが付きました。インタビューやお食事会で話を聞いて皆さんの話に共通しているのは、とことんチャレンジしていることと、自分の感覚を大切にされていることでした。新しいことやあまりモデルが無いことをやろうと一歩踏み出すことは私自身、怖気づいてしまうことがよくあります。しかし皆さんの話を聞くと、そんなネガティブなことを考えずにとりあえずやってみるということがとても大切だということがわかりました。私もそこから少しずつやってみたいことをとりあえずやってみると、最初は想像もしなかった新しいアイデアやワクワクすることが出てきました。

これから、就職活動が始まり不安の方が勝ることの方が多くなると思いますが、このプロジェクトで皆さんから学んだことを思い出して、とりあえずやってみる精神で思っていることを行動に移していこうと思います。

社会マネジメント学科 1年 須貝紅琉美

担当：交流会チーム

私が本プロジェクト活動を選んだ理由といたしましては、大学入学前からプロジェクト等の地域貢献活動に挑戦したいと考えていたからです。

このプロジェクトでは地域に貢献しつつ、女性の働き方を知ることもできるため、将来を決める何かヒントになればと思い、このプロジェクトを志望いたしました。

最初に糸島市の魅力について尋ねると、関わっている先輩やOG・職員の方々は口を揃えて「人が優しい」と答えていました。実際に現地へ訪れると、本当に優しく温かい方々に出会うことができ、話しているだけで元気をもらえました。また地魚を使った海鮮丼やまきのうどんなど糸島の食は非常に美味しく、自然に溢れた糸島の景色もとても綺麗で、たった3日間で糸島市が大好きになりました。

1年間のプロジェクト活動を通して何よりも学んだことは挑戦し続けることの重要性です。それは糸島市訪問時のインタビューでも強く感じたことでしたが、4年生の先輩方も経験していない相生祭地域物産展への展示・販売やそれに向けた商品発注など、新たな挑戦を沢山させていただいたからです。時に悩みや不安に押しつぶされそうになりましたが、それを乗り越えるたびに自信に繋がり、挑戦することの大切さと楽しさを学ぶことができました。これからも新たな事に挑戦し、楽しみながら更に自信を身に付けていきたいと考えています。

社会マネジメント学科 1年 呂畑穂奈美

担当：交流会チーム

私は高校時代から特に女性の働き方に深い興味を持っていたため、このプロジェクトに参加させていただいた経緯があります。何から何まで初めての経験で、その全てが新鮮であり、最初は不安と緊張ばかりでした。しかし、四年生や連携教育推進課の方々からの手厚いサポートがあったことで、安心して活動を進めることができました。また、このプロジェクトを通じて実際に糸島市を訪問したことで、地域の人々のあたたかさを身をもって感じるとも貴重な経験となりました。また、私が元々持っていた女性の働き方に対する興味から、糸島市で活躍する女性の方々に直接お話を聴く貴重な体験をすることができました。それぞれが独自の働き方や働く上でのプロセスを持っていることを、感じました。このプロジェクトに参加したことで、私は様々な経験を積むことができ、新たな視点や発見を得る機会に恵まれました。その経験と新たな知識を生かして、来年も再びこのプロジェクトに参加し、今年出来なかったことや反省点を改善し、より良いプロジェクト活動に繋げることができればと考えています。

社会マネジメント学科 1年 千葉妃南

担当：情報発信チーム

私は大学一年生から何かに挑戦してみたいと思いこのプロジェクトに参加することを決めました。このプロジェクトでは、様々な学年と関わりを持つことができました。また、訪問した際に糸島市在住の方にインタビューする機会がありました。そこで私は初めて出会う人に臆することなく話せる自信を身に付けられたと思います。

他にも相生祭に出店するにあたり、コミュニケーション力を上げることができたと感じています。商品を販売する際にお客様に話しかけ、商品の説明をするなど、臨機応変に迷わず話すことができました。

また、情報発信チームとして普段行わない Instagram の投稿をしました。投稿するにあたり、画像編集や文章の構成などを行う機会でも新しいことに挑戦できました。

誰が見てもわかりやすい投稿を目指して情報発信に取り組みました。

糸島の魅力は、人と人との距離が近いことだと思いました。通りすがっただけでも挨拶をしてくれる素敵な場所でした。また、食べ物もとてもおいしく、自然も多い、観光できる場所が沢山あり、2泊3日では足りないくらい充実できる場所とも感じました。

社会マネジメント学科 1年 土屋愛美

担当：情報発信チーム

私は福岡に移住してみたいと思いプロジェクトに参加しました。5年前から福岡に住むことが夢でした。初めて福岡に行けて夢がかなって嬉しかったです。1年間を通して、多くの魅力を知れてとても良い経験になりました。糸島訪問では、自然が豊かで、移動中の

車内から見た海が印象に残っています。水が透き通っていて、とても綺麗でした。また地域の人と交流し、人柄の良さを感じました。インタビューや夕食会などでお話を聞いて、貴重な時間になりました。市役所の方々のご厚意により、糸島の観光地を巡らせてもらい楽しかったです。美味しい食事に連れてってくださり、たくさんの体験ができました。優しい方々と出会えてすてきな思い出になりました。

情報発信では多くの方に糸島の魅力や素晴らしさを知ってもらいたいと感じました。訪問中楽しく過ごすことができ、糸島市への移住を真剣に考えようと思いました。活動に協力して下さった方々に心から感謝しています。このような貴重な経験をさせていただきありがとうございました。今回の経験で学んだことをこれからの人生で生かしていきたいです。

5. お世話になった方々のご紹介

惣菜畑がんこ 柚木マスミ様 柚木重信様

「糸島の旬をいただきます。」をモットーに地元で愛されるお惣菜屋さんを経営されています。本プロジェクトの発足当初からお世話になっており、テレビでも取り上げられた「金山寺納豆」を、相生祭でも販売させていただきました。

<https://itoshima-ganko.com/shop/>

株式会社 糸島みるくぶらんと 那須貴彦様 瀬戸芳輝様

のむヨーグルトをはじめとする乳製品等を販売されています。相生祭では、看板商品である「伊都物語 のむ/たべるヨーグルト」を販売させていただきました。温かい人柄が印象的で、交流会では営業の仕事のやりがいや面白さ等について伺いました。

<https://www.itomonogatari.com/>

加茂グリーンファーム 加茂正彦様

父親から農業を受け継ぎ、二代目としてハウス栽培のキュウリなど様々な種類の野菜を生産されています。農業のほかにも、白山神社（糸島市二丈）の「福井神楽」で神楽師として活動したり、地元のイベントに協力したりと、地域活性化に積極的に取り組まれており、糸島市議会議員としても活躍されています。

宮田ちひろ様

糸島市在住。独学で絵を学び、福祉施設職員から画家へと転職されました。日常の風景から発想を得る温かい雰囲気の商品が印象的です。2021年冬は、桜と菜の花の絵がJA糸島のラッピングトラックに採用されています。

<https://ateliercwebsite.wixsite.com/atelier-c>

舩野結花様

広島出身。地元大学を卒業後、東京の大学院で産業観光の振興や街づくりを学び、IT系ベンチャー企業やフリーでWEB関連の仕事をされていましたが、糸島市が東京で開催した移住イベントをきっかけに地域おこし協力隊に就任し、糸島市に移住されました。「ブランド推進協力隊員」として、糸島市内の飲食店や工房を紹介する「糸島つながる市場」の運営や事業者の情報を発信されてきました。(令和6年1月末退任)

糸島漁業協同組合 鹿毛俊作様

糸島漁業協同組合 業務課長。同組合が携わる各種イベントやメディアへの出演等も担当されており、糸島産の新鮮な海産物のPRに貢献されています。

<http://foitoshima.jf-net.ne.jp/>